

# こぐまサークルニュースレター

令和元年度 第3号 (3月)

川島町中山 1733-2 ☎ 297-3000

HP <http://tonegawayoutien.jp/>



## 未就園教室『こぐまサークル』について 園長 笛木 哲

入園前のお子さんと保護者対象に行ってきた「こぐまサークル」に、ご参加くださったたくさんの皆様に心から感謝申し上げます。本年度は、のべ926人もの親子にご参加いただきました。

『こぐまサークル』に参加することで、子ども達は、幼稚園の様子を知り、少しずつ集団生活に慣れてきました。家庭という閉じられた環境とは違った世界で、様々な体験や経験（自宅ではできないダイナミックな遊びや



制作活動、専門家が行う体操、運動会やクリスマス会など季節に合わせた行事など)により、知的好奇心や身体機能が刺激され、心も広く大きくなりました。笑い声のはじける教室の中で、友だちと一緒にいることの楽しさを感じました。また、子どもだけでなく親の交流の場、子育ての悩みや不安を相談し共有する場、幼稚園の先生と親しくなる場として、保護謝の皆様にも元気と自信を与える場となりました。活動を重ねる中で、今まで気づけなかったお子さんの新しい側面、成長した姿を見つけることができた保護者の皆様もたくさんいらっしゃったことでしょう。

本年度の『こぐまサークル』では、子ども達や保護者の皆様のはじけるような笑顔にたくさん出会いました。常々思うのです

が、母の笑顔は子どもに生きる喜びを与えます。笑顔の母親のもとで育った子どもは安心して新しい世界に羽ばたくことができます。まもなく新しい年度が始まります。1年間こぐまサークルで過ごした子ども達がどんな成長、活躍を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

## ■子どもの好奇心を育てる

何事にも興味をもち、興味に向かって自分からぐんぐん進んでいくような子育てができないものかと考えます。ところが子どもの興味関心は散漫で、飽きやすく、長続きしません。子どもの好奇心を育てるために、教師も親も苦労しています。



ある小学生の親の子育て記には、「私は、子どもに何も押しつけなかった。私がしたことは、子どもが興味を持っていることに関する本を、その都度、本棚に並べておくことであった。」と書いてありました。子育てが本になるくらいですから、きっと凡人には思いもよらない子育ての秘訣があるのでしょうか、この一文だけでも参考になります。親の仕事はおしつけず、子どもに悟られないように環境を整えることが大事なようです。さて、幼児期の子ども達は、どんなものにも興味関心を示します。好奇心の塊のようです。ところがその好奇心を大人の思惑で潰してしまうことがあります。まずは好奇心をもった時、その種が育つ環境整備をすることが親（大人）の役目でしょう。